

～平塚市公園愛護会連絡協議会会報～

Aigo～愛護～

18号～平成25年11月22日～

平成25年度平塚市公園愛護会連絡協議会研修会の御報告

平塚市公園愛護会連絡協議会市外公園視察研修会が10月22(火)に行われました。台風が接近していましたが、当日は幸い雨も降らず、秋らしい涼しさの中での研修となりました。無事に事故もなく視察研修ができましたのも、会員の皆さまの御協力があったのと、紙面を通じまして、厚く御礼申し上げます。

この度、受入に御協力いただき、協議会でお邪魔いたしましたのは、神奈川県横浜市にある「こども自然公園」と、川崎市にある「生田緑地」です。

こども自然公園

こども自然公園は、面積約48haの大きな公園で、江戸時代中期に灌漑用水池として作られたという約6600㎡の「大池」と、約3300㎡の「中池」があり、輝く水面が美しい景色を創出しています。通称「大池公園」とも呼ばれ、地元の方々にも親しまれている公園です。公園内には、春に1300本もの桜が咲き乱れるという「桜山」、約38種類の梅を鑑賞できる「梅林」があり、夏から秋にかけては彼岸花、金木犀が見ごろを迎えるそうです。このように自然が豊富であるため、ほぼ管理の手を入



れていないという自然林には、数多くの動物や昆虫が生息しているそうです。同時に、ハクビシンやスズメバチ等、人間に害を与えるものも多く、対応には非常に苦慮しているとのことでした。管理にあたっては、この自然を守るため、公園内で出る落ち葉や剪定枝は、可能な限り自然に返す方法を取り、環境美化にも積極的に取り組んでい



また、こども自然公園は、以下のような様々な指定を受けています。

横浜市指定文化財
(天然記念物)

「こども自然公園のゲンジボタル
及びその生息地」

鳥獣保護区

かながわの美林50選
かながわの公園50選
かながわの探鳥地50選

こども自然公園内に生息するゲンジボタルは、その生息地とともに横浜市の指定文化財に指定され、市全体でその環境を守っています。また、鳥獣保護区、探鳥地とあるように、公園内ではカワセミやアオサギ等、さまざまな種類の鳥類の観察ができるそうです。

研修会当日は近隣幼稚園の遠足ということで、たくさん的小朋友達が来園していましたが、「ちびっこ動物園」や「教育水田」、「青少年野外活動センター」等、子どもが楽しみながら学べる施設も充実しているとのことでした。

研修に参加された方からは、「施設が充実しているので孫を連れて来たい」、「落ち葉や剪定枝をゴミにせず自然に返すやり方は、自分の公園でも実践してみたい」といった感想をいただきました。



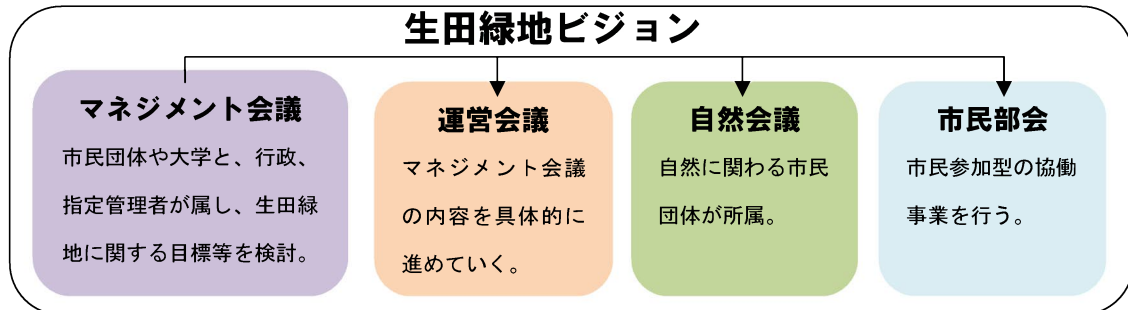
生田緑地

次に訪れたのは川崎市多摩区にある生田緑地です。生田緑地は面積約179.3haと非常に広大で、科学館や美術館、民家園等の施設が充実しているほか、クヌギやコナラを中心とした雑木林や、谷戸部の湿地、湧水等の貴重な自然資源が残されており、季節によって様々な花や紅葉を楽しむこともできます。かつての里山環境や周辺の農地、樹林等と一体となった美しい風景が見られ、ゲンジボタルやホトケドジョウ等の貴重な生物も生息しているとのことでした。このように見どころが豊富で、大人から子どもまで楽しむことのできる緑地内は、たくさんの利用者が賑わい、芝生の上でピクニックを楽しむ利用者が数多くいらっしゃいました。

川崎市では、生田緑地の豊かな自然環境と個性的な施設等の資源を活



かした、価値と魅力の向上を目指して、平成23年に「生田緑地ビジョン」を策定し、その中で、「豊かな自然・文化・人・まちが共に息づき、みどりがつなげる持続可能な生田緑地の実現」を基本理念として掲げています。これを達成するため、下図のような3つの会議を行っていて、行政や指定管理者のほかに13団体もの市民団体とともに生田緑地の運営について話し合っているそうです。また、市民の方が誰でも関われる「市民部会」という事業も行っており、緑地の保全及び利用推進に努めていらっしゃいます。



講習では、こうした生田緑地の管理に関する仕組みや市民協働の状況について、生田緑地運営共同事業体の市民協働の担当者様に分かりやすく説明をしていただき、質疑応答の場では、参加された方からも積極的な発言がありました。



講習のあとは、生田緑地の中心施設から徒歩15分ほどの場所にある生田緑地ばら苑に、希望者のみ案内をしていただきました。

生田緑地ばら苑は、小田急向ヶ丘遊園の閉園後、園内に整備されていたばら苑を、川崎市が引き継いだもので、春と秋にそれぞれ約2週間ずつ開苑しています。山道を抜け、長い階段を昇り切ると、およそ440種、400株ものバラが咲き誇っています。このばら苑は、ボランティアの方々によって育成・管理されており、「バラの殿堂」入りを果たした世界中で愛されるバラが栽培されているとのことで、ばら苑まで行った方は、「苦勞した甲斐があった」と美しいバラを写真に収めていらっしゃいました。

生田緑地ばら苑



おわりに

視察研修会に御参加いただいた皆さま、お疲れ様でした。今回の視察先は非常に広く、それぞれ特徴的な公園で、新しい発見や学ぶべき点があったのではないかと思います。今後の愛護活動に少しでもお役立ていただければ幸いです。また、研修に参加できなかった皆様も、今回の視察先は見どころが豊富で、御家族で楽しめる公園ですので、是非一度訪れてみてください。（生田緑地ばら苑の秋の開苑期間は終了しています。）
なお、来年度以降の事業については、皆様に当日御記入いただいたアンケート結果を参考にし、検討して参りたいと考えております。

平塚市から皆様へお願い

いつも公園の清掃活動に御協力をいただき、ありがとうございます。

集めていただいたゴミは、1箇所にとりまとめ、当課下記連絡先まで御連絡ください。

枝については、回収車の都合上、長いものは回収できません。

30センチ以下の長さに切っておいていただきますようお願いいたします。

御協力よろしくお願ひいたします。



現在、平塚市には270箇所の公園が整備されており、そのうち165箇所の公園に愛護会が設立されております。皆さまのお近くの公園で、まだ愛護会が設立されていない公園がありましたら、ぜひ愛護会の設立を呼び掛けていただければと思います。

御不明な点は、みどり公園・水辺課まで御連絡下さい。



Aigo~愛護~

誌面づくりに御参加いただける方を随時募集しています。公園愛護活動風景や公園自慢等、御連絡お待ちしております。（メールやお便りによる御応募も大歓迎です。）

【問合せ先】

平塚市みどり公園・水辺課公園管理担当

電話：0463-23-1111

（内線）2424・2515

メール：midori@city.hiratsuka.kanagawa.jp

